

N8104-7158
LAN ドライバー インストレーションガイド
(Intel R23.5)

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 対象 OS および対象条件	3
1.2. 接続対象	3
1.3. 商標	3
2. Windows ドライバーのインストール.....	4
2.1. LAN ドライバーのインストールフロー	5
2.2. LAN ドライバーのバージョン確認.....	6
2.3. LAN ドライバーのインストール.....	7
2.4. LAN ドライバーの設定.....	8
3. 注意事項.....	10
3.1. リモートデスクトップによる操作について.....	10
3.2. イベントログについて	10
3.3. フロー制御について	10

1. はじめに

本インストールガイドは、N8104-7158 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch) を使用する際に必要な LAN ドライバーのインストール方法について説明します。

本手順書の適用範囲は下記の通りです。

1.1. 対象 OS および対象条件

省略形式	対象 OS の製品名
Windows Server 2016	Microsoft® Windows Server® 2016 Standard Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter

対象条件 : OS 起動時に、次のイベントログが登録される場合に本手順書の適用範囲となります。

ソース名	i40ea
種類	警告
イベントID	69
説明	Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710 または Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710-xx ※xxは任意の数字 デバイスのドライバーが予期されるバージョンより新しいバージョンの不揮発性メモリー (NVM) イメージを検出しました。ネットワーク・ドライバーの最新バージョンをインストールし てください。

1.2. 接続対象

接続対象は、以下の通りです。

- ・ Express5800/R140h-4

1.3. 商標

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel は米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文では TM や R マークを明記していません。

2. Windows ドライバーのインストール

本章では、Windows での LAN ドライバーのインストール方法および各種機能の設定方法について説明します。インストールに関する注意事項を「3. 注意事項」に記載してありますので、インストール前に必ずお読みください。



- ・以下の作業はローカルコンソールにて管理者権限のアカウントでサインインし、実施してください。
- ・本インストール作業により、LAN ドライバーのパラメーター設定は初期値に戻ります。設定を初期値から変更して運用されている場合は、事前にパラメーターの設定情報を控えておき、LAN ドライバーのインストールを完了後に再度設定を行う必要があります。
- ・N8104-7157 10GBASE-T 接続ボード(2ch)を併用している場合、こちらの LAN ドライバーのパラメーター設定も初期値に戻ります。設定を初期値から変更して運用されている場合は、事前にパラメーターの設定情報を控えておき、LAN ドライバーのインストールを完了後に再度設定を行う必要があります。

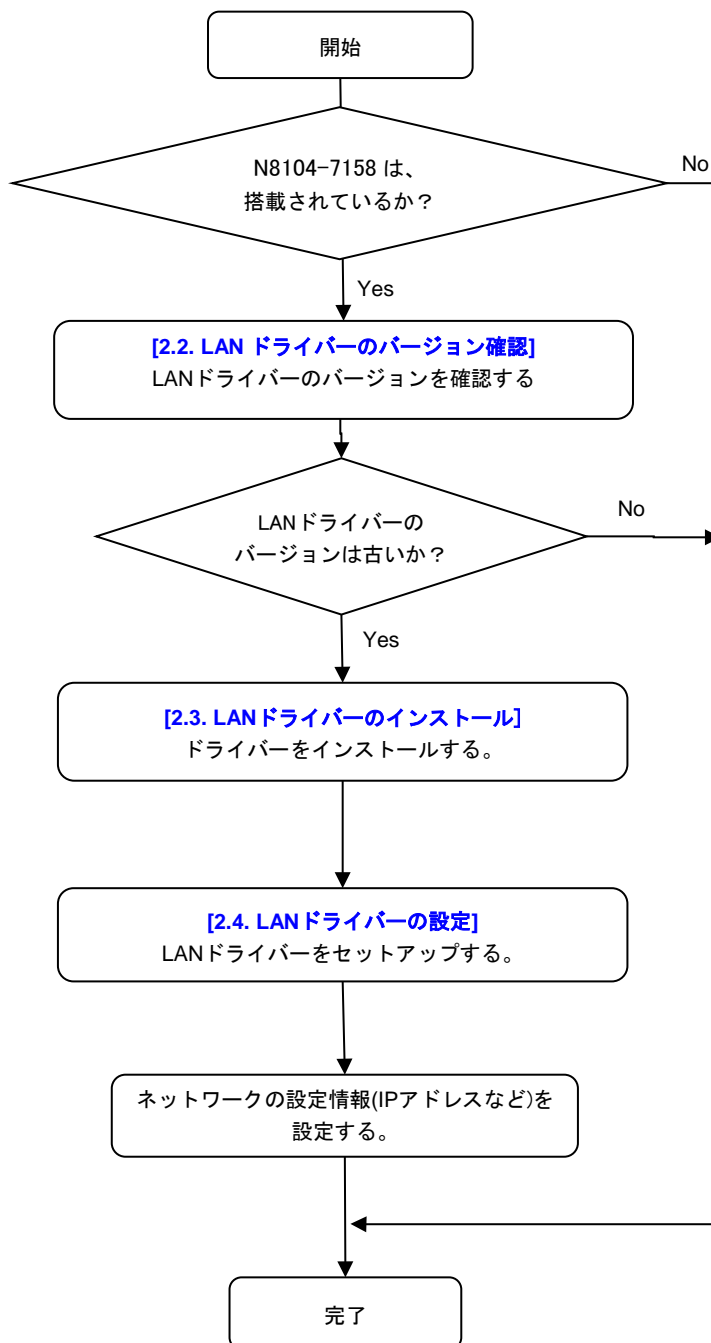
◆ インストール作業の事前準備

1. 以下の Express5800 シリーズ サポート情報サイトから
「GVO-050767-G01_XXXXXXXXXXXXXXXXX.zip (x は任意の数字となります)」をダウンロードしてください。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108284>
2. システムドライブ配下に[Temp]フォルダを作成してください。
例) (※以下ではシステムドライブを「C:」とします)
C:¥Temp
3. 「1.」でダウンロードしたファイルを展開し、[LAN]フォルダを「2.」で作成した[Temp]フォルダにコピーして下さい。
例) (※以下ではシステムドライブを「C:」とします)
C:¥Temp¥LAN¥

2.1. LAN ドライバーのインストールフロー

本項では、LAN ドライバーをインストールする際の作業の流れについて説明します。N8104-7158 が搭載されている場合は、以下の図を参照し、LAN ドライバーをインストールしてください。

なお、N8104-7158 が搭載されていない場合は、本インストールガイドによる LAN ドライバーのインストールは不要です。



2.2. LAN ドライバーのバージョン確認

本項では、LAN ドライバーのバージョン確認方法について説明します。以下の手順を参照し、LAN ドライバーのバージョンを確認してください。

1. システムを起動し、管理者権限アカウントでサインインします。
2. [デバイスマネージャー]を起動し、[ネットワークアダプター]に”Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710”や”Intel(R) Ethernet Controller X550”が表示されていることを確認後、それぞれのアダプターをダブルクリックしてプロパティを表示します。
3. [ドライバー]タブの[ドライバーの詳細]をクリックし、[ドライバーファイルの詳細]を開きます。
4. [ドライバー ファイル]のコントローラードライバーのバージョンを下記一覧と比較します。

コントローラードライバー一覧表

対象 OS	デバイス名	LAN ドライバー名	ドライバーバージョン
Windows Server 2016	Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710	i40ea65.sys	1.9.221.0
Windows Server 2016	Intel(R) Ethernet Controller X550	ixs65x64.sys	4.1.131.0

- コントローラードライバーのバージョンが上記の表と同じ、または新しい場合は、**本 LAN ドライバーの適用対象外**となり、本インストールガイドによる LAN ドライバーのインストールは不要です。
- コントローラードライバーのバージョンが上記の表より古い場合は、**本 LAN ドライバーの適用対象**となりますので、「2.3. LAN ドライバーのインストール」に進んでください。

2.3. LAN ドライバーのインストール

本項では、LAN ドライバーのインストール手順について説明します。
以下の手順を参照し、LAN ドライバーを適用してください。

1. コマンドプロンプトを管理者として起動し、以下のコマンドを実行します。
(以下ではシステムドライブを C:とします)

```
cd C:¥Temp¥LAN
```

2. 以下のコマンドを実行し、インストールを開始します。

```
INSTALL_WS2016.bat
```

3. インストール完了後、コマンドプロンプトに下記のメッセージが表示されるので、コマンドプロンプトを閉じてシステムを再起動します。

```
Intel Driver Installation Completed!
```

4. システム再起動後、「2.2. LAN ドライバーのバージョン確認」を実施し、適用された LAN ドライバーのバージョンが以下の一覧表のバージョンになっていることを確認してください。

コントローラードライバー一覧表

対象 OS	デバイス名	LAN ドライバー名	ドライバーバージョン
Windows Server 2016	Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710	i40ea65.sys	1.9.221.0
Windows Server 2016	Intel(R) Ethernet Controller X550	ixs65x64.sys	4.1.131.0

2.4. LAN ドライバーの設定

本項では、LAN ドライバーのパラメーターをセットアップする方法について説明します。



- ・以下の作業はローカルコンソールにて管理者権限のアカウントでサインインし、実施してください。
- ・LAN ドライバーのパラメーターを変更した場合は、最後に必ずシステムを再起動してください。

(1) リンク速度の設定



- ・ネットワークアダプターの転送速度とデュプレックスモードは、接続先スイッチングハブの設定と同じにする必要があります。

以下の手順を参照し、転送速度とデュプレックスモードを設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。ネットワークアダプターのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定]タブを選択し、[速度とデュプレックス]をスイッチングハブの設定値と同じ値に設定します。
4. ネットワークアダプターのプロパティのダイアログボックスの[OK]をクリックします。

(2) フロー制御

フロー制御は、受信バッファが枯渇しそうになった際に、相手装置にポーズフレーム(pause)を送信し、フレーム送信の一時的な停止を指示する機能です。

また、ポーズフレームを受信した時は、送信規制を行います。以下の手順を参照し、フロー制御を設定してください。



アダプター(ポート)とリンクパートナーの送信と受信の設定が一致するように合わせる必要があります。たとえば相手装置のフローコントロール設定が受信のみの場合、アダプター(ポート)は送信のみ設定します。

以下の設定値へ変更可能です。

- オフ
- 受信 有効
- 受信/送信 有効
- 送信 有効

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。ネットワークアダプターのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定]タブを選択し、[フロー制御]をクリックして[値]を表示させます。
4. [値]の[▼]で設定を変更します。
5. ネットワークアダプターのプロパティのダイアログボックスの[OK]をクリックします。

(3) ジャンボ パケット

本パラメーターはジャンボパケットのパケット長を設定します。

リンクパートナー(スイッチなど)の MTU(Maximum Transmission Unit)設定は本パラメーターで設定した値に合わせる必要があります。以下の手順を参照し、ジャンボパケットを設定してください。



・チームを構成するアダプター(ポート)は、ジャンボパケットをすべて同じ値に設定してください。

1. [デバイスマネージャー]を起動します。
2. [ネットワークアダプター]を展開し、設定するネットワークアダプターをダブルクリックします。ネットワークアダプターのプロパティが表示されます。
3. [詳細設定]タブを選択し、[ジャンボ パケット]をクリックして[値]を表示させます。
4. [値]の[▲][▼]で値を変更します。
5. プロパティのダイアログボックスの[OK]をクリックします。

3. 注意事項

本章では、LAN ドライバーに関する注意事項を記載しています。

3.1. リモートデスクトップによる操作について

本ドキュメントに記載されている全ての操作は、必ず本体装置に接続したコンソールから実施してください。OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用した操作は、サポートしていません。

3.2. イベントログについて

下記のログがシステムログに登録されることがありますが、システム運用上問題ありません。

ソース名	ixgbs
種類	警告
タイミング	LAN ドライバー適用時、LAN ドライバー適用後のシステム起動時
イベントID	27
説明	Intel(R) Ethernet Controller X550 #xx ネットワーク・リンクが切断されました。

ソース名	i40ea
種類	警告
タイミング	LAN ドライバー適用時、LAN ドライバー適用後のシステム起動時
イベントID	27
説明	Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710-xx ネットワーク・リンクが切断されました。

下記のログがシステムログに登録される場合、最新のドライバーを適用することで登録されなくなります。

ソース名	i40ea
種類	警告
タイミング	LAN ドライバー適用時、LAN ドライバー適用前のシステム起動時
イベントID	69
説明	Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710-xx デバイスのドライバーが予期されるバージョンより新しいバージョンの不揮発性メモリー (NVM) イメージを検出しました。ネットワーク・ドライバーの最新バージョンをインストールしてください。

3.3. フロー制御について

フロー制御を「送信 有効」または「送信/受信 有効」に設定している場合、システムハングなどの要因でOS のパケット処理が停止すると PauseFrame が継続して送信されることがあります。

このときスイッチ側には大量のパケットが滞留するためスイッチ内のバッファが不足し、スイッチに接続されたすべての通信機器に影響が出ることがあります。

このようなケースを回避するためには、フロー制御を「オフ」に設定してください。